

シンポジウム

# 「人類学と アート」の協働

2018年12月15日(土) 13:30-17:45

会場：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

京都人類学研究会12月季節例会／日本文化人類学会近畿地区研究懇談会  
共催：京都市立芸術大学

写真：下道基行

近年、人類学とアートの実践面における交流が盛んになると同時に、互いの領域を横断する研究と創作活動が活発化している。テキストのみに依拠しない、各種のメディアを駆使した人類学研究の模索が、アートの方法論や語法を学びつつ、各地で展開している。さらに、人類学研究にインスパイアされたアーティストが、特定の土地やコミュニティを対象としたフィールドワークをもとに、作品制作を行う機会も増えている。

本会では、それぞれ異なる三組の発表と議論を中心に、人類学者とアーティストの協働や、それぞれの領域を横断する創作プロジェクトの現場における、思考や実践の交点、相違を検証する。以上より、人類学とアートの協働がひろく、新たな知と創造の地平を展望する。

## PROGRAM

司会・コーディネーター

川瀬 慈 (国立民族学博物館)

### 発表1

アート(と)人類学序論：  
相互触発的なプラットフォームの形成に向けて  
佐藤 知久 (京都市立芸術大学)

### 発表2

「触れたら、死ぬ」  
-人類学的探求における映像インスタレーション-  
村津 蘭 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)

### 発表3

共異体のコンポジション：  
超領域的協働の実践から  
第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展/日本館展示メンバー  
石倉 敏明 (秋田公立美術大学)  
服部 浩之 (秋田公立美術大学)  
下道 基行 (美術家)

## TIME TABLE

13:30-13:40 趣旨説明 (川瀬)

13:40-14:25 発表1 (佐藤)

14:25-15:10 発表2 (村津)

15:10-15:30 休憩

15:30-16:45 発表3 (石倉・服部・下道)

16:45-17:45 総合討論 (発表者、コーディネーター)  
+ 質疑応答

\* 本会は、京都人類学研究会、日本文化人類学会近畿地区研究懇談会、京都市立芸術大学の共催となります。

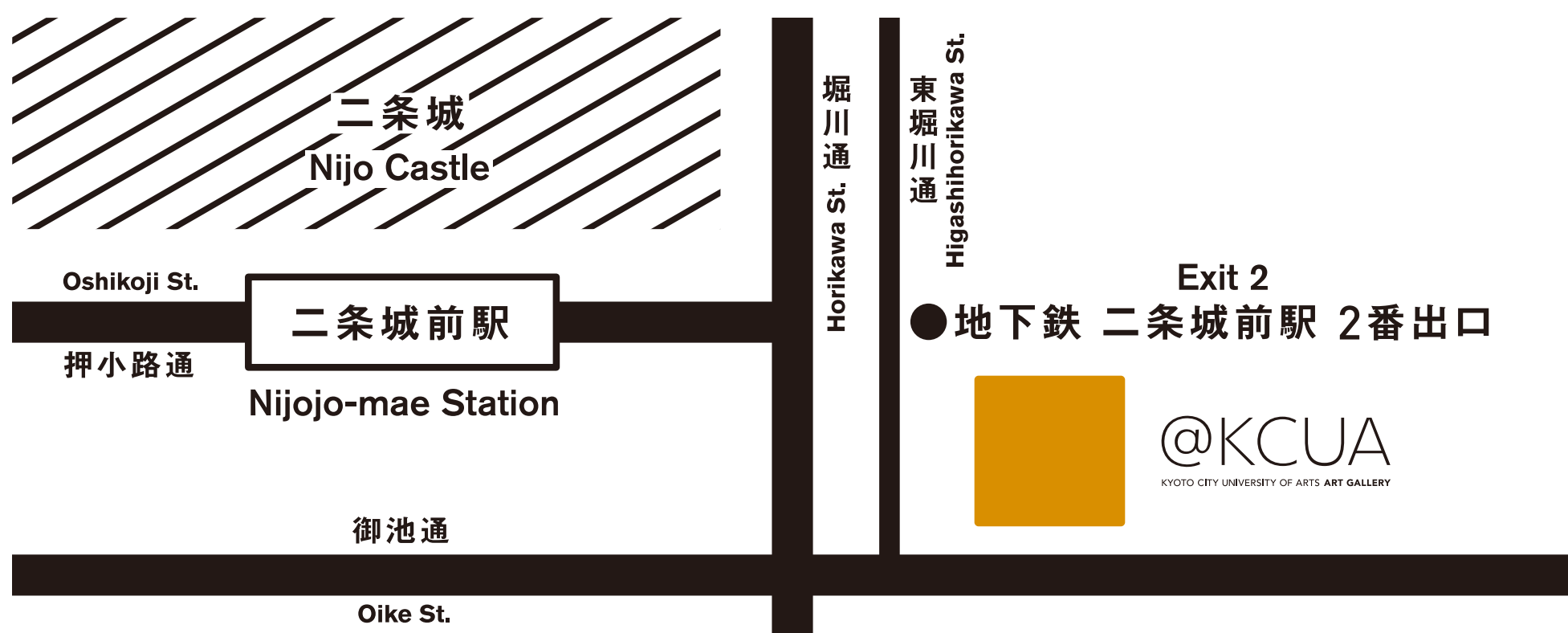
\* 京都人類学研究会は京都を中心とする関西の人類学および関連分野に関心をもつ研究者・大学院生がその研究成果を報告する場です。

\* 事前の参加予約は必要ありません。どなたでも自由に参加いただけます。

\* 当日は資料代として200円いただきます。

問い合わせ先 | 京都人類学研究会事務局 : [kyojinken2018@gmail.com](mailto:kyojinken2018@gmail.com)

会場 | 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 〒604-0052 京都市中京区押油小路町 238-1  
Phone: 075-253-1509 / E-mail: [gallery@kcua.ac.jp](mailto:gallery@kcua.ac.jp) / <http://gallery.kcua.ac.jp>



京都市バス・京都バス「堀川御池」下車すぐ／京都市営地下鉄東西線「二条城前」駅下車2番出口より徒歩3分

京都市立芸術大学  
Kyoto City University of Arts

@KCUA  
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY